

平成28年2月14日
執行

八幡市長選挙公報

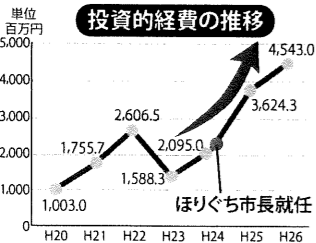
八幡市選挙管理委員会

現八幡市長 文昭 ほりぐち



国・京都府と連携、協調をさらに強化し、3つの施策を重点にまちを描いていきます

インフラ整備・公共施設の拡充は1.9倍に増加!
小中学校など公共施設の耐震補強など、将来にツケを残さないための経費。



自公民推せん

新たな担い手の育成

農業の活性化に向けて

地域の創業支援

まちへの誇りと愛着を創生

文化と暮らしを創生します。

健康で「幸せ」を感じる

健康都市を創生します。

子どもたちの未来を創生します。

国・京都府と連携、協調をさらに強化し、3つの施策を重点にまちを描いていきます。

【プロフィール】
昭和27年(1952)八幡市美濃山生まれ。八幡町立有智郷小学校卒。同志社香里中学・高校卒。同志社大学法学部卒。昭和49年八幡町役場入庁。平成24年八幡市長に就任。

- 推せん人
京都府知事 山田啓一
自民党京都府連会長 西田昌司
公明党京都府本部代表 竹内謙
衆議院議員 泉健太
京都府議会議員 中川きよし
八幡市議会議員の私たちも推せんします
- 小北 幸博
岡田 秀子
森川 信隆
長村 善平
横山 博
菱田 明儀
山田 芳彦
太田 克彦
関東佐世子
鷹野 雅生
近藤 恒史
清水 章好
田島 祥充
中村 正臣

あなたにとつて、八幡市は暮らしの良い街ですか？

誰もが故郷と考える八幡市を一緒に考えましょう

どんな素晴らしい「施設」にも「人(心)」を入れなくてはなりません。そして、子育てや介護、就労など不安材料ばかりの今、私と安心して暮らせる街を一緒に創りませんか。私は、大学卒業後に民間企業に就職、そして八幡市職員、市会議員としてその経験の中から八幡市の問題、課題が山積しているのを感じてきました。少子化で人口減、増える高齢化、医療費、社会保障費に対して果たして行政サービスが追いつくのか、疑問ばかりです。「人の暮らし」、そしてその受け皿として「整備事業」について考えました。幸い八幡市には文化財や多くの緑や田畑が多く、石清水八幡宮の国宝指定も活性化の起爆剤。参拝者と、八幡市に住む市民との親睦や融和が図れてこそ、その真価を発揮します。私は左記のことを訴えます。

まずは、住みよい街づくりによる「住みやすさNo.1」へ

- 子育て支援
- 保育駅前ステーションの充実
- 児童医療費無料化の充実
- こども相談の充実
- 福祉施設の充実
- 地域包括ケアの推進
- 介護予防の推進
- 生活保護の適正執行
- 教育の充実
- 農業の充実

適切な都市整備の充実による「元気都市 八幡市」へ

- 八幡市駅周辺整備
- 橋本駅周辺整備
- 東部地域の活性化
- 男山の再生
- 国道一号線の沿線土地利用

【生年月日】昭和25年6月8日 【学歴】大阪工業大学工学部卒 【趣味】トレッキング、読書、旅行 【好きな言葉】質実剛健 【家族】母・妻
【市議での経歴】市議会副議長、文教厚生常任委員長/平成19年度決算特別委員会副委員長/平成21年度予算特別委員会委員長、総務常任委員/都市環境常任委員、広報編集委員/八幡市農業委員 【職歴】大日本土木株式会社/八幡市役所同和対案室次長、都市整備部長/有大会

憲法市長で実現を 市政転換！市民の声を生かす市政に

井筒がおる

「平和を守る」「弱者の味方」が私の信念です

「戦争法廃止」「原発ゼロ」めざす

「戦争法廃止」「原発ゼロ」めざす

「原爆再稼働反対」を全国に発信します

市民の「困った」にこたえる温かい市政

- 消費税の10%増税は許さない
- 中小企業振興基本条例・公契約条例の制定
- 住みやすいリフォーム・商店リフォーム助成制度の創設
- 国保料1世帯1万円引き下げ
- 65歳〜71歳の方の医療費窓口負担を1割に(74歳まで順次拡充)
- 医療費無料化を高校卒業まで、小児救急体制の充実、少人数学級など子育て支援強化
- 上下水道料金の引き下げ

市民が主人公の市政

- 市民参加のまちづくり
- 同和行政の終結、入札制度の改善
- 市長の退職金(4年間1,860万円)は廃止

ためこまれた基金70億円は くらし応援のために使います

私もおこそう 八幡ショック

戦争法廃止 八幡から

市民のための市政をすすめる八幡市民の会

【プロフィール】
◆1953年生まれ。◆1995年から八幡民主商工会勤務。中小業者の営業と生活を守って41年。消費税廃止・八幡各界連事務局長。憲法を守る運動の先頭に立つ。
◆現在、八幡市民の会事務局長、朱雀高校通信制在学中。62歳。◆家族 妻、娘1人